

冷水をかぶり、平安と多幸を祈願する僧侶



冷水かぶって平安祈願
妙成寺で寒水荒行

元日と2日、日蓮宗北陸本山である妙成寺(羽咋市滝谷町)で、僧侶が全身に冷水を浴びて身を清め、新年の平安と多幸を祈願する寒水荒行が行われました。

荒行は、両日それぞれ2回ずつ本堂前で行われ、白い下帯姿の5人の僧侶が水行肝文と呼ばれるお経を唱えながら、おけに入った冷水を頭から何度もかぶりました。

雪が降り積もる中、披露された圧巻の冷水かぶり。参拝客はコロナ禍で例年の半分にも満たない人数でしたが、写真を撮るなどしてその様子を見守り、中には目を閉じ、手を合わせて祈りをささげる人の姿も見られました。

ふじおか Culture
～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課(☎235997)】

No.59

猫絵

～ネズミよけに飾る～

2月22日は「にゃんにゃんにゃん」で「猫の日」です。猫は、今日では愛玩動物ですが、少し前までは愛玩動物であると同時にネズミを駆除する益獣でもありました。昔は「猫絵」としてネズミよけに飾られていたことをご存知でしょうか。

養蚕業が盛んだった江戸時代後半、養蚕農家にとってネズミは大敵でした。養蚕は、ただでさえきめ細やかな配慮が必要で、繭まで育て上げるのが難しいにもかかわらず、ネズミに食い荒らされてしまえば、その被害額は相当なものになってしまいます。そういった事情から養蚕農家では猫を飼うことが勧められていましたが、当時の猫は貴重で数が少なく、ネズミ捕りのうまい猫はかなりの高値がついたとか。そこで人気を集めたのが猫の姿が描かれた「猫絵」です。床の間や蚕室に飾ることでネズミが寄り付かなくなるとして、多くの養蚕農家が猫絵を

買い求めました。とりわけ新田岩松氏(現在の太田市、旧新田町周辺を所領)の18代から21代の当主は「猫絵の殿様」とも呼ばれ、彼らの描く絵は特にネズミよけの効果があると信じられ、人気も高かったようです。

写真の猫絵は、明治時代の木版画で、養蚕の守り猫として猫の体に桑が描かれている様子が特徴的です。

絵の中でさえ活躍する猫の存在は、当時の人々にとって、生活に欠かせないものとなっていたようです。



猫絵(文化財保護課所蔵)

教えて! 消費生活

ワンクリック詐欺に注意!

Q インターネットでアダルトサイトに「無料」とあったので画面をタップすると、いきなり「登録ありがとうございました。明日までに入会金35万円支払ってください。誤作動の方はこちらに電話するように」と画面表示された。有料を確認できる画面はなかったと思う。記載された電話番号に電話をしたが出なかった。どうしたら良いか。

A 契約は、一方からの「申し込み」の意思表示とこれに対する「承諾」が合致して初めて成立します。インターネット上での契約も同じです。インターネット上では、通常、利用規約を読んだ上で、申し込みに必要な情報を入力し申し込み、業者から承諾のメールなどが届きます。この手順が省かれたものは、契約が成立していない可能性があります。タップしただけでは契約は成立せず、入会金の請求は無効です。電話をかけると個人情報を聞かれ、答えてしまうと別の業者から次々と請求を受ける可能性があります。このような請求は無視しましょう。電話してしまった場合は、かけてしまった電話番号を着信拒否し、知らない電話番号からの電話には出ないようにしましょう。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

いまからできる!

日常防災
Everyday disaster prevention

キャンプも立派な防災訓練

災害時に自分や大切な家族を守るのは知識と備えです。防災は日常に転がっており、生活と密接につながっています。防災を難しく考えず、簡単な日常の行動と結び付けて取り組んでいきませんか。

【問い合わせ 地域安全課(☎27444)】



最近、全国的にキャンプが流行しており、したことがある人も多いのではないのでしょうか。このキャンプですが、ただの休日の息抜きになるだけではなく、立派な防災訓練になっています。家庭の電気やガスなどを使わずに食事や生活を行うことができることから、災害時の対策としても注目が集まっています。テントの中はプ



ライベート空間も確保しつつ生活することができ、熊本地震の時にも活用されました。外で衣食住を楽しむアウトドアの知識と経験は、娯楽としてだけでなく、それを余儀なくされる緊急時にも役立ちます。キャンプを楽しみながら、緊急時の備えとして日常防災をしてはいかがでしょうか。